

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		晴る日 円山事業所		公表日		令和7年 3月 29日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	12	1	個別療育室を4つ設けています。集団活動の場や制作活動、おやつ場所等を構造化し、子どもが視覚的に理解しやすいようにしています。	集団活動の場が運動するには狭いので、近隣の公園や室内でも使える運動器具を備えを充実していきます。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	11	2	午前、午後の利用人数を各5名として計画し、職員を適正数配置しています。	急な職員の休み等があった場合に対応できる体制を、今後は考えていきます。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	13	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	13	0	清掃の後のチェックは欠かしません。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	13	0	個に応じた対応をしています。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか。	12	1		研修計画にPDCAサイクルに関する内容を組み入れ、毎月関連した研修を行います。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	保護者様のご意見を職員全員で共有できる体制をとっています。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	13	0	事業所内ミーティングや個別の懇談等を定期的に行っています。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	6 ※「不明」1		今後は適切な第三者による外部評価を受けられる体制を作るよう検討します。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	13	0	・毎週職員研修を計画し、実施しています。 ・外部研修等への積極的な参加を推進しています。		
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	13	0	職員に周知しています。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	13	0	様々なアセスメントについて随時研修をし、個を知って支援内容を計画していくシステムをつくっています。		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	13	0	支援担当者会議を適切に開催しています。		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	13	0	毎回の支援内容と支援改革の整合性を図ることができる体制をとっています。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	13	0	アセスメントについては、必要に応じて事業所においてもフォーマルアセスメントをとったり、時期に応じてインフォーマルアセスメントシートへの記入をしています。		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	13	0	支援担当者会議で情報を共有し、毎回支援内容を検討しています。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	13	0			

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	13	0	研修会参加や書籍活用等で研鑽を継続し、職員間で内容を共有しています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	13	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	12	1		支援開始前に時間のゆとりがありませんでした、来年度（2025年度）から時間の変更を行うこととし、ゆとりを持てるようになりました。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	11	2		療育終了後に振り返り等の間がとり辛い状況でした。今後はその日の反省等ができる時間を確保できるように体制を作っていきます。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	13	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	12	1		更に丁寧にモニタリングさせていただく機会を持てるようにします。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	11	2 ※「不明」1	相談支援事業所に関係している児童が非常に少ないです。しかし、園との連携は緊密にとり状況を理解している担当者が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	12	1 （「不明」）		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	利用児在籍園と合同の情報共有会議を開催したり、頻繁に見学に行かせていただいたりしています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	13	0	入学前には小学校の管理職、特別支援コーディネーターとの合同会議を開催しています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8	5		支援内容をより深めるために、積極的に連携をとるよう努めます。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	6	7		今後可能な限り地域連携に取り組むよう努めます。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	13	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	11	2		保護者様のご要望を詳しくお聞きし、ニーズに合った保護者支援の機会を持つよう努めています。	
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	13	0			
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	11	2		更に保護者様との連携を深め、「こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮」との観点で面談を進めるようにしていきます。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	13	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	13	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	7		今後は毎年1回の父母会の開催を目指して計画するようにします。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	13	0		
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	13	0		
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	13	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	13	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	8		地域の民生委員と連携をとり、未就園のお子様、保護者様との交流の場を設けて特別支援の観点でご相談をお受けしたり、お子様への絵本の読み聞かせや手遊びなどを行って、家庭でもできるふれあい遊び等の紹介をしていきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	13	0		
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	13	0		
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	12	1	確認できているので、職員全員でより綿密に情報を共有できる体制を作ります。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	12	1		食物アレルギーの情報は共有できています。医師の指示書については確認に努めます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	13	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	13	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	12	1	適時職員で声を掛け合ってヒヤリハットシートに記入し、内容を共有しています。	
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	13	0			
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	11	2		年間計画に身体拘束の研修を組み込み、職員間で討議を重ねて、職員が同じような対応がとれるように常に考え方や情報を共有していくようにします。	